平成２９年７月九州北部豪雨における
寺内ダムの流木処理について（経過報告）

平成２９年７月九州北部豪雨に伴い、水資源機構が管理する寺内ダム（美奈宜湖）には計画高水流量の約３倍の規模の最大８８８㎥/sの洪水が流入しましたが、防災操作によって約１，１７０万㎥（福岡ヤフオクドーム約6.5杯分）の水を貯め込み、ダム下流の洪水被害を軽減しました。

さらに、寺内ダムには洪水のみならず大量の流木（約10,000㎥）や土砂が流れ込みましたが、ダムで捕捉し、流木や土砂がダム下流へ漂流し橋梁に引っかかることにより、河川がせき止められ、被害が拡大することを防ぎました。

水資源機構では、今後の洪水に備える等、ダムの機能を適切に維持するため、７月28日(金)からダム湖で捕捉した流木の本格的な撤去を開始したところです。

九州北部豪雨から約３ヶ月を経過した９月30日現在において、湖面の流木の撤去をほぼ完了しました。なお、進捗率約66%となります。

今後は、11月末までの完了を目途にダム湖周辺の陸地に残る流木撤去に引続き取り組みます。

なお、撤去した流木は、福岡県大牟田市や嘉麻市などでチップ化され、熊本県荒尾市などのバイオマス発電の燃料として再利用されています。

水がささえる豊かな社会
独立行政法人
水資源機構

平成２９年１０月４日

独立行政法人水資源機構　筑後川局

発表記者クラブ
久留米市政記者クラブ

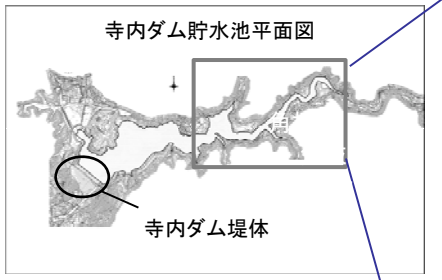
問い合わせ先
独立行政法人水資源機構　筑後川局　総務課長　中曽根（なかそね） 住　所　：　福岡県久留米市東町４２－２１ 電　話　：　０９４２（３４）７００１　（代表） http://www.water.go.jp/chikugo/chikugo

（位置図）

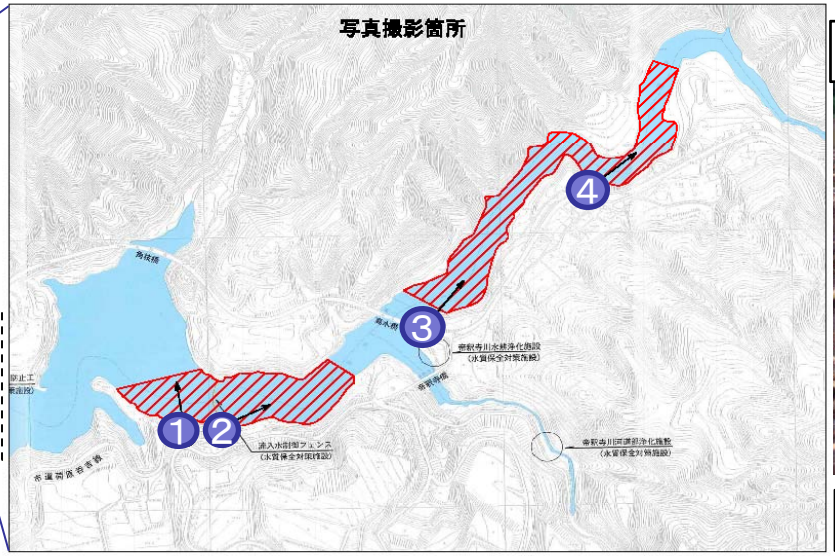
福岡導水
筑後川下流用水
北九州市
玄界灘
福岡県
周防灘
福岡市
寺内ダム
中津市
江川ダム
寺内導水路
小石原川ダム
佐賀県
朝倉市
大分県
鳥栖市
夜明ダム
日田市
久留米市
筑後大堰
佐賀市
筑後川
大山ダム
松原ダム
下筌ダム
有明海
大牟田市
熊本県

寺内ダムによる流木と土砂の捕捉状況

●洪水のみならず大量の流木（約10,000m3）や土砂が流れ込みましたが、仮にダムが整備されていなければ、流木や土砂が捕捉されることなく、下流河川へ漂流し橋梁に引っかかることにより、河川がせき止められ、さらに被害が拡大する可能性があったと推定されます。



7月5日出水により、
約10,000立方メートル（推定値）の
流木等を捕捉
（年平均は120立方メートル程度）



H29年7月6日撮影

写真④

写真③

写真①

写真②

Water supports wealthy society
Incorporated Administrative Agency
Japan Water Agency

寺内ダムに流れ込んだ流木を撤去

●今後の洪水に備える等、ダム機能を維持するため、流木撤去に必要な道路整備や搬出機材などの準備を整え、７月２８日（金）から本格的な撤去を開始しました。

流木撤去状況

大型クレーンで流木を回収

台船上のバックホウで流木を回収

バックホウで流木を回収

寺内ダムに流れ込んだ流木の撤去状況

●９月３０日現在において、湖面の流木の撤去はほぼ完了しました。進捗率約６６％となります。
●今後は、11月末までの完了を目指し、ダム湖周辺の陸地に残る流木撤去に引続き取り組みます。
●撤去した流木は、福岡県大牟田市や嘉麻市などでチップ化され、熊本県荒尾市などのバイオマス発電の燃料として再利用されています。

8月1日撮影

※写真撮影箇所は流木捕捉状況説明と同じ。

写真①

写真②

写真③

写真④

9月30日撮影

写真①

写真②

写真③

写真④

Water supports wealthy society
Incorporated Administrative Agency
Japan Water Agency